

市民のみなさんと議会をつなぐ

だいとうし 議会だより

2021年 5 月



3月定例会議会号 No.105



だいとうし 街かどスケッチ ……morineki (北条3丁目)

公民連携の手法により新エリア「morineki (もりねぎ)」が令和3年3月19日(金)にオープンしました。もりねぎ住宅(民間住宅を市が借り上げる市営住宅)、商業棟・レストラン棟、鎌池公園(愛称:もりねぎ広場)が集う魅力あふれるエリアとなっています。

審議の内容がもっとわかる!

こちらからも
アクセス
できます



本会議のライブ中継・録画中継、
会議録、議会だより(バックナンバー)
など、市議会の情報が満載です。

大東市議会ホームページ

大東市議会

検索

だいとうし議会だよりについてのお問い合わせ
大東市議会事務局 TEL.072-870-0763

もくじ

3月定例会議会のあらまし	2~3
代表質問	4~6
市議会レポート	6
一般質問	7~10
一般質問項目/議会活動日誌	11
議案の審議結果	最終ページ

次の定例会議会の開催予定日です

本会議は市議会ホームページからライブ中継でご覧になれます

6月 1日(火)	本会議(議案上程・委員会付託)
3日(木)	未来づくり委員会
4日(金)	未来づくり委員会
10日(木)	街づくり委員会
11日(金)	街づくり委員会
23日(水)	本会議(一般質問)
24日(木)	本会議(一般質問)
25日(金)	本会議(一般質問・委員長報告・表決)

会議は、原則として午前10時に開会しますが、変更となることがあります。なお、未来づくり委員会・街づくり委員会はそれぞれ2日間の日程で予定していますが、1日目で終了したときは、市議会ホームページでご確認になれます。

※ 請願・陳情の受付期限は、5月20日(木)です。

3年度一般会計、 6特別会計、2企業会計を可決



令和3年3月定例月議会を2月22日～3月23日に開催し、東坂市長の施政方針が示されたほか、3年度一般会計・各特別会計・企業会計の予算、2年度各会計の補正予算、計画の変更及び条例の制定・一部改正などを審議しました。（最終ページに関係記事）

また、2月28日には日曜議会を開催し、市長の施政方針に対する各会派の代表質問が行われました。

総額876億6204万円の
3年度当初予算を可決

令和3年度予算案を、一般会計及び国民健康保険・介護保険・2駅周辺整備事業の3特別会計については賛成多数で、交通災害共済事業・火災共済事業・後期高齢者医療保険の3特別会計及び水道事業・下水道事業の2企業会計については賛成全員でそれぞれ可決しました。一般会計497億6289万円、6特別

会計の合計が271億7966万円、2企業会計の合計が107億1949万円となっており、予算総額は前年度（当初ベース）に比べ56億9700万円の増、一般会計は40億4982万円の増、特別会計は6億7404万円の増、企業会計は9億7314万円の増となっています。

その主なものは、

●市制施行65周年記念式典事業に186万円
●防災・減災等、市民の安全・安心を向上させる国土強靱化地域計画を策定する国土強靱化計画策定事業に400万円
●大東市総合計画と大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略を広く市民に周知するためのツールの作成、アンケートの実施及びKPI等の検証を行う総合計画・総合戦略推進事業に730万円
●公共施設等の総合的かつ計

画的な管理を行うための中期的な取組みの方向性を示す計画として、平成29年2月に策定した大東市公共施設等総合管理計画を改訂する公共施設等総合管理計画策定事業に450万円
●ICT相談窓口の設置及びDX推進事業者育成セミナー開催等により市内企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、市内企業の生産性向上を促進する市内企業DX推進事業に33



3万円

●民間企業からICTに関する豊富な知識や経験を有する人材を受け入れ、職員とともに本市行政運営のデジタル化を推進するICT推進事業に960万円

●国の制度に基づき、全市民を対象に新型コロナウイルスワクチン接種を実施する新型コロナウイルス接種経費に5億2239万円

●市史跡・平野屋新田会所跡を核とする「深野池新田開発関連文化財群」の保存活用方法を検討するため検討部会を開催し、会所跡の測量調査を

実施する。また、大坂の両替

商平野屋が新田をおさめてから300周年となることを記念し、企画展・シンポジウム等を開催する。さらに、会所跡北側の私有地に残る会所の濠の遺構を住宅開発から保護し、将来的に会所跡と一体で整備活用するため公有化を目指す平野屋新田会所跡保存活用整備事業に947万円などが計上されています。（金額は1万円未満四捨五入）

3年度一般会計補正予算

4億4784万円を可決

歳入歳出予算の総額に4億4784万円を増額した一般会計補正予算（第1次）を賛成全員で可決しました。

その主なものは、

●高齢者及び障害者の生活支援を目的として、ギフトカードを送付する事業を実施する高齢者・障害者生活支援事業に2億1377万円

●新型コロナウイルス感染症

防止対策を講じながら、事業を継続実施している民間保育関連施設の職員に対し、給付金を支給する大東市保育関連事業従事者応援給付金給付費に6750万円

などが計上されています。（金額は1万円未満四捨五入）

「インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援に関する条例」を制定

インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援に関して、市の責務並びに市民及び議会の役割を明らかにするとともに、これらの施策の基本となる事項を定めることにより、これを推進する「インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援に関する条例」を賛成多数で可決しました。

この条例は令和3年4月1日に施行されています。

「障害者福祉対策のさらなる強化を求める意見書」を可決

本市議会では、障害のある人が安心・安全に生活できる大東市を目指す特別委員会での議論等をまとめ、①障害福祉サービスに関する事業継続及び推進において不可欠な人材確保のため、さらなる処遇改善を進め、職員の確保及び賃金等の待遇改善を早急に取り組むこと ②障害のある人の地域移行を推進し、安心して暮らせるグループホーム等の住まいの確保のため、補助金制度のさらなる充実を図ること ③医療的ケアが必要な人や児童に関しては、その必要性に対し、地域での十分な体制が取れていないことから、受け入れ促進のための体制整備や包括的支援の充実を国の責任において進めること、以上の取組みの推進を強く求める意見書を賛成全員で可決し、国に送付しました。



酒井 一樹 議員

Q コロナ禍において、障害者と65歳以上の高齢者を対象とするだけではなく、64歳以下の市民も対象に含めた全市民一律給付事業を実施できませんか。



A 本市では、新型コロナウイルス緊急対策として、雇用、企業、医療従事者、福祉従事者、高齢者、障害者及び小・中学生を中心とした若年齢者層に対し、順次、取組みを進めてきました。この度、高齢者と障害者に対する生活支援策を講じることとしており、想定している対象者へ

の取組みについては一通り完遂となります。今後は、感染状況を見極め、市民の生活支援を中心に取り組んでいく必要があると認識しており、国からの支援や財源を見据えながら、正しく判断を進めていく決意ですので、全市民に向けた給付事業の実施を前向きに検討していきます。

Q 新型コロナウイルス感染症におけるワクチン接種に向けての進捗状況を聞かせてください。

A 令和3年1月25日に設けたプロジェクトチームにより、全接種希望者が安全に接種できるように準備を進めています。身近な医療機関での個別接種と市内3か所程度の会場での集団接種の併用により、アクセスやキャパシティの課題を克服していきます。また、市民からの問い合わせに対応できるように正確かつ迅速に情報提供していきます。今後示されるスケジュールに柔軟に対応し、スムーズな接種に向けた準備を整えていきます。



石垣 直紀 議員

Q 確かな学力の向上と教育環境の充実についての理念を聞かせてください。

A 「まちづくりは人づくりであり、人づくりは教育から始まる」という信念を基に教育行政を進めてきました。改訂を進めている新しい大東市教育大綱においても、第一に学力の向上を掲げ、子どもたちがその成果として学力の向上を達成できることが最も大切であると考えます。加えて、子どもたちとその保護者が安心できる通学・学習における環境づくりや安全な施設整備といった教育環境の充実は大変重要です。あらゆる観点から、学力の向上と教育環境の充実を目指します。

Q コロナ禍の影響により今後の財政運営は厳しくなると考えられますが、展望を教えてください。

A 将来の財政運営は、コロナ禍の影響が合わさることなどで、大変厳しい状況が見込まれますが、今後も改革の歩みを止めることなく、歳入の増加と徹底した歳出の削減に取り組んでいきます。

Q 他自治体では、児童相談所が機能せず、非常に残念な事件が起こっていますが、児童相談所における本市の特化した取組みを教えてください。

A 妊娠・出産期から就学期全域に至るまで、切れ目のない支援と相談体制を構築している「ネウボランドだいう」の機能が特筆すべきものであり、虐待の未然防止に大きく寄与できていると考えます。



妊娠・出産・子育てに関する必要なアドバイスをスムーズに切れ目なく行っているネウボランドだいう（保健医療センター3階）



品川 大介 議員

Q 市内店舗応援商品券事業での大混乱の反省を踏まえて、コロナ禍における各施策事業の実施や中止の判断は何に基づいて行いますか。

A 感染状況を見極めながら必要なニーズを捉え、いち早く対策を講じていくことが大切であると考えており、国や府が実施する対策に加え、市独自の支援を行う予定です。事業を進める際は感染予防対策を第一に考え、感染状況に応じた柔軟な対応を図ります。

Q 府営住宅の移管によってセーフティーネットの要素が強い市営住宅の戸数が増加し、本市に必要な戸数を超えて税金が使われてしまうという不安があります。それを解消するために、資産運用を独立させて、収支の持続性の見える化を図ることができる特別会計の導入を提案します。

A 府営住宅の移管については収支の透明性を確保し、市民から理解されることが重要と認識しています。その手法として特別会計の設置が最も効果的であり、2次移管後、移管を受けた市営住宅について、速やかに特別会計導入に向けた手続きを進めます。

Q バリアフリーが整った道路の整備状況はどうなっていますか。

A 高齢者、障がい者等が利用する施設を相互に結ぶ経路を生活関連経路として設定し、計画的に取り組んできました。令和2年3月末時点の重点整備地区の整備率は、住道駅周辺で86・1%、野崎駅周辺で62%、四条畷駅周辺で64・1%、3駅周辺の全体で80・5%となっています。



バリアフリー化の整備が進み、フラットな路面になった歩道(住道2丁目)



北村 哲夫 議員

Q 本市は生駒市や四條畷市の近隣市と防災協定を提携していますが、被災した場合の受援体制の整備状況を教えてください。

A 人員の応援等が互いにスムーズにいくよう、交通機関が止まっている場合において、提携自治体の職員が、まずは居住する市における災害支援に当たるといったような相互計画などを考えており、災害からの早期復旧に活用できるよう、受援計画の策定を進めていきます。

Q 市長就任から大規模事業を公民連携手法で展開していますが、費用対効果がありません。再検証し、立ち止まるべきと考えますが。

A 他市に先駆け、公民連携手法を用いたプロジェクトを着実に進めてきた結果、ようや

く目に見える形で稼働し始めてきました。今後も、先進的な公民連携の歩みを力強く進め、その過程で時には軌道修正し、立ち止まりながら問題点を克服し、最善の成果を生み出せるよう努めます。

Q 全国的にトップを走る本市の家庭教育支援事業の今後の取組みを教えてください。

A 家庭が抱える問題を早期発見し、専門機関につなげて解決に結びつけるなどのアウトリーチ型支援の実施や、家庭教育を支援するための職場環境づくりに取り組む企業と連携し、企業が家庭教育を応援する様子を広報紙やSNSなどで広く周知することで、親子の育ちをまち全体で応援する機運を醸成していきます。





あらさき 美枝 議員

Q コロナ禍において、水道の基本料金無料化の延長、全家庭への商品券等配布、光熱費支援が必要ではありませんか。

A 水道の基本料金無料化による減収は、事業運営に影響があると考えており、また、一般会計からの繰入れによる無料化の延長は、現時点で考えていません。全家庭への商品券等配布については、適切な時期に有効な生活支援策の実施に取り組んでいきます。光熱費支援については、必要とすべき生活支援策の内容について検討していきます。

Q 学力向上を目指すには、35人以下の少人数学級を積極的に推進すべきではありませんか。

A 国や府の動向に注視しながら、本市の子どもたちの健全やかな成長や学びにとって、最

も必要な施策を実践していきます。

Q 四条駅周辺整備において、歳出削減のため、ペDESTリアンデッキを横断歩道と信号設置に、また、市民満足度を上げるため、駅西側の駐輪場を立体から平面屋根付きとし、縮小分は駅東側に駐輪場を設ける計画変更を。

A 警察協議の中で、駅前広場内への横断歩道や信号設置は認められておらず、現在の計画に至っています。駅西側については、最小で最適な駅前広場を計画しており、駐輪場は、確保面積不足により立体駐輪場を計画しています。駅東側に駐輪場を設ける

には、用地の確保が困難な状況ですが、様々な状況に鑑みながら、今後

も検討していきます。



駅周辺の利便性・安全性の向上等を目的とした整備を予定しているJR四条駅

聴いて見て 議会市民レポーターの だいとう市議会

本会議の配信を視聴して知ったこと

持病等のある単身高齢者に通報ボタンの無料貸し出しをしていること。オペレーターが常駐していて介護・医療・生活支援の相談ができること。月1回お元気コールを行い、異変があると家族に緊急連絡があること。単身高齢者の孤独死等を防ぐため、見守り電球をトイレなどに取り付けて、異変があれば家族がパソコンやスマートフォンで確認できること。

異常をいち早く発見できるシステムにより、家族は安心できて助かると思います。一般質問の答弁のほんの一部ですが、知ることができて良かったです。

(I.N.)

コロナ禍の中の高齢者

コロナ禍により、市民生活が大きく変化したように思います。サークル活動が休止になるなど他人とのかかわりが少なくなり、世代間のコミュニケーションが取りにくくなりました。高齢者は特に孤立しているように感じます。

これからは、大東市民が力を合わせて風通しの良い市政となることを願っています。

議員のみなさんの活動と、市民に寄り添う政策に期待いたします。

(御供田4丁目 J.M.)

議会市民レポーター1年目の思い

退職後、市民として市議会活動にもっと関心を持つべきとの思いに至り、議会市民レポーターに応募しました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により、レポーター会議は短時間、議会側の参加は議長のみとなり、多くの議員との積極的な意見交換ができず物足りなさを感じました。

ライブ中継・録画配信で本会議の審議等を見ることができたのは、情報公開の点で評価できます。今後、コロナ以外にも地震等さまざまな災害が懸念されますが、市民を守るべき議会の活動に期待し、見守りたいと思います。

(川中新町 江見慎悟)

一般質問

3月定例会月議会では、14人の議員から一般質問があり、各議員が希望した項目を要約して掲載しています。
なお、各議員の一般質問の主な項目は、11ページ上段に掲載しています。

本市保護樹木の管理費の 助成と広報についてなど



中村 ゆう子 議員
(Jimin 翔政会)

Q (1)本市の緑を次世代に引き継ぐため、保護樹木の所有者に対する維持管理費の助成を要望しましたが進捗状況は。

A 所有者がより適正に管理できるように、令和3年度から報奨金制度を創設します。

■ ホームページでの保護樹木の紹介はとなりましたか。

■ 保護樹木の場所の写真を撮るなど作業を進めており、準備が整い次第公表します。

Q (2)地域猫活動の環境整備をもう少し進めてもらえませんか。

A 自治会が地域猫活動のボランティア団体に活動を依頼する場合において、猫を捕獲し、不妊去勢手術を受けさせ地域

育児をとりやすい 職場環境について



児玉 亮 議員
(大阪維新の会)

Q 国の指針などでは、希望出生率1.8人の実現を目標としています。共働き時代において実現していくためには、育児を取得しやすい環境づくりが大切だと思っています。本市の見解を聞かせてください。

A 職員については、地方公務員の育児休業等に関する法律等に基づき、育児休業制度が設けられています。男性・女性を問わず育児のために一定期間の休暇や休業を取得するこ

に返すまでの期間の餌代や保管場所等の経費に活用できる自治会対象の地域猫活動補助金を令和3年度に創設します。

とは、本人にとって子育てに能動的に関わる契機として重要であるとともに、組織にとっても多様な人材を生かすマネジメント力の向上や子育てに理解のある職場風土の形成等の観点からも重要であるので、育児休業の取得向上に積極的に努めていきます。



公文書にかかる問題点と 今後の改善策について



中村 晴樹 議員
(大阪維新の会)

Q 市内店舗応援商品券事業における公文書が正しく作成されなかったことに対する見解は。

A 職員に対し、政策決定過程を把握できる公文書を作成するよう指導します。

■ 旧子ども発達支援センター跡地を無償貸付けするに当たり、それを担保する公文書が存在しないということは問題では。

■ 不適切であると認識しています。起案決裁の段階で、過去の検証が可能な体制を整える必要があると考えています。

■ 幾度となく公文書管理条例の制定を提案してきましたが、今後どのように応えますか。

■ 職員一人ひとりが公文書に対する正しい認識を深める取組みを行うとともに、公文書管理条例の制定についても選択肢の一つとして調査研究します。

北条まちづくりプロジェクト

2期構想について



中河 昭議員
(Jimin 翔政会)

Q 北条まちづくりプロジェクト

2期構想及びその構想内にある北条12号線(大正橋)拡幅工事及び鎌池公園親水護岸工事の内容を教えてください。

A

2期構想については、1期事業で得た経験と課題を検証した上で改善しながら、北条地域が有する豊かな自然や点在する公有資産を活かし、引き続き、連続性を意識しながら、地域一帯の魅力創出を図り、整備していきたいと考えています。北条12号線(大正橋)については、令和3年3月から7月にかけて拡幅工事を行います。令和3年秋以降に予定している鎌池公園親水護岸工事について



道路拡幅工事を予定している北条12号線(大正橋)

では、府との協議の結果、護岸中段まで切り下げ、滞留スペースを設置することで整備を予定しています。

府営住宅移管後の

財政負担について



北村 哲夫議員
(Jimin 翔政会)

Q 府営住宅が移管された場合、

セーフティネット受託事業や建替えを含めた維持管理費の財政負担が大きすぎませんか。

A

移管予定住宅において、移管後30年間の収支シミュレーションを実施しています。長期的には累積収支の黒字枠の拡大が見込まれ、建替えの際は建設費用の約半分の補助金が調達できるので、人口推移や公営住宅への需要等を見極めて建替えを実施すれば、財政収支上の問題はありません。移管検討時に、移管住宅だけでなく、既存の市営住宅を含めた17住宅における総合的な

管理計画を作成しましたか。

既存の市営住宅を加えた詳細なシミュレーションは行っていないので、総合的な計画については策定していません。

市内店舗応援商品券事業の

混乱の責任についてなど



天野 一之議員
(日本共産党議員団)

Q (1)市内店舗応援商品券交換時

での混乱の責任についてどのように結論づけましたか。

A

事業実施における企画、準備段階から、より周到な考察が欠けていた点やリスクマネジメントに対する意識の低さにより混乱が生じたものであるとの結論に達しています。

Q

(2)生活保護申請時に相談者が取り乱され、同行家族が怪我をする事例がありました。が、対応に問題はありますか。

A

市は、相談者に生活保護制度を十分に理解してもらうため十分に説明する義務がありま

す。相談者にとって話にくい内容も聞くこともあるため、気分を害される場合もあります。今回の事例もそのようなことも原因があったのではないかと認識しています。

成果連動型

公民連携事業についてなど



水落 康一郎議員
(清 新 会)

Q

(1)指定管理者制度等も含めた本市全事業について、よりコストを追求したPFSやSIB等の成果連動型民間委託方式の導入を検討できませんか。

A

指定管理者制度に始まり公民連携事業と続いてきた本市の土壌から、こうした取組みについても、さらに研究を深めていきます。

Q

(2)東京都品川区の五反田地区では「人が集まるスイッチ」等を掲げ、公民が連携して様々な取組みをしています。住道地区においても、本市公民連

A 携まちづくり事業会社と連携してさらに取り組みませんか。

今後、住道地区全体の活性化を目的に官民のプラットフォームの立ち上げを予定しており、支援していきたいと考えています。

コロナ禍における

全市民一律給付について



酒井 一樹 議員
(公明党議員団)

Q コロナ禍における全市民を対象とした一律給付事業の実施に向けた見解を。

A 全市民一律給付事業については、令和3年3月定例会月議会にて提案している高齢者・障がい者への支援事業により対象者を一巡したことになる新型コロナウイルス緊急対策後に、感染状況やワクチンの進捗状況を見据え、地方創生臨時交付金等の財源が得られることを前提に、実施に向けて進めていきます。この交付金等

がないといった場合についても、市民の生活状況を考慮しながら、何らかの手を打つ必要はあるという認識を持っており、どのような実施方法とするかについて、しっかりと研究をしながら、実施を目指して進めていきたいと考えています。

通学路危険箇所の継続的な改善についてなど



東 健太郎 議員
(公明党議員団)

Q (1)通学路の危険箇所改善は、令和3年度において教育委員会で年間活動計画を立てた上で公開し、各関係機関とも共有した形式で継続的に改善活動を進められませんか。



A 関係機関と速やかな連携が図れるよう、事業計画を作成し、子どもたちの安全で安心な通学路確保に取り組んでいきます。

Q (2)コロナ禍における新しい避難体制を盛り込んだ大東市総合防災マップの配布時期は。

A 令和3年6月頃までに発行できると準備を進めています。

■ 動画による広報の進捗状況は。

■ 令和3年2月に新型コロナウイルス感染症予防対策のYouTube動画を公開しました。今回は6月頃までに新しい避難や感染症対策を施した避難所の紹介などを公開予定です。

公平で透明性のある

市有財産の活用について



あらさき 美枝 議員
(日本共産党議員団)

Q 太子田にある市有地を無償でハートフル大東に貸付けていますが、公平性の観点から見直して契約はできましたか。

A 現在、有償化とする契約の締

結には至っていませんが、次の契約更新予定の令和10年までに、有償化に向けた交渉を進めていきます。

■ 明確な基準がない慣例的な運用で市有財産を活用するのではなく、公平で透明性のある申請方法や減免要件等を整備することは可能ですか。

■ 市有財産の貸付けや減額にあたっては、財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の規定に照らし、それぞれの団体の性質や活動内容、また貸付けする財産の使用目的等を十分に精査し、適正で公平な運用を行っていきます。

コロナワクチンを接種しない人への誹謗中傷対策はなど



小南 市雄 議員
(清 新 会)

Q (1)新型コロナウイルスワクチンを接種しない人への誹謗中傷が懸念されますが、対策は。ワクチン接種の有無に関する

憶測やデマが、誹謗中傷や差別につながるおそれがあると認識しており、そのような誹謗中傷や差別は許されるものではありません。本市ではホームページ、広報紙、ポスター、自治会回覧板、チラシなど様々な広報媒体を活用し啓発を行っているところです。

Q (2)飯盛城跡の国史跡指定に向け、市内JR3駅でのPRが必要と考えますが。

A 最寄り駅となる野崎駅をメインに、のぼり旗や横断幕等の掲出のほか、多言語案内看板を設置するなど、市民活動団体との連携を密にしながら、積極的なPR活動に努めます。

人口増加に向けた 必要な施策についてなど



木田 伸幸 議員
(大阪維新の会)

Q (1)コロナ禍によって状況が一変する中で、人の動きが変化しています。この状況は人口

流入の絶好のチャンスと考えますが、人口増加に向けて、どのような施策が必要ですか。

A 本市の強みである交通利便性や自然環境を最大限に生かしながら、徒歩や自転車での移動空間の確保や人が賑わう魅力ある空間を創出することで、人口の増加につながる、選ばれるまちを目指していきます。

Q (2)子どもたちの成長のために教育ができることは何ですか。

A 社会総がかりで子どもたちを育む体制づくりが必要であると考えており、令和3年度から導入するコミュニティスクールにより、地域の力を生かせる学校づくりが実現できるものと期待しています。

高齢者見守り対策として 見守り電球の活用をなど



杉本 美雪 議員
(公明党議員団)

Q 高齢者の安否確認等の見守り対策として簡単に設置可能等

のメリットがある見守り電球の活用はできませんか。

A 高齢者の見守りシステムは日々進歩しています。見守り電球の活用を含め既存の様々な見守り施策を活かしながら、本市の実情にあつた効果的なシステムの導入について引き続き研究していきます。

Q マイナンバーカード申請の出張サービスの提供は、利便性向上やマイナンバーカード普及促進に有効な取組みです。令和2年度は、コロナ禍の影響により実施を見送りましたが、令和3年度以降も感染状況等を考慮しながら、開設について前向きに進めていきたいと考えています。

A 出張窓口の開設は、利便性向上やマイナンバーカード普及促進に有効な取組みです。令和2年度は、コロナ禍の影響により実施を見送りましたが、令和3年度以降も感染状況等を考慮しながら、開設について前向きに進めていきたいと考えています。



住民サービスの向上、行政の
スリム化、コスト削減に向け
て普及を促進しているマイナ
ンバーカード

コロナ禍での生活支援および 助言など適正な対応で



光城 敏雄 議員
(無 会 派)

Q コロナ禍における生活保護、及び就学援助の本市施策を述べてください。

A 生活保護は、生活支援の貸付などが終了する令和3年夏ごろ以降に生活保護の相談が増加する可能性があるかと予測しており、生活困窮者支援としてかかりと連携していく必要があると考えています。就学援助は、申請期間を例年5月中旬から2週間程度としています。が、1か月間延長により申請機会の確保を図っています。また、収入が大きく減少された場合には、減少後の見込所得をもとに受給審査する特例を設けたところです。今後コロナ禍の影響で経済的に困難となった家庭に対し必要な対策を講じていきたいと考えています。

一般質問の主な項目 (緑色の項目は7～10ページにその質疑の要約を掲載しています)

※掲載は発言順

- | | | |
|--|---|--|
| <p>1 杉本 美雪 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平常時・災害時に問わず備えある防災を ● 諸福児童センター跡地利用のビジョン ● 生徒ファーストの今後の中学校給食の在り方 ● 支援学級増加動向と教員確保 ● 高齢者の公共交通への利用促進 | <p>6 中河 昭 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 北条まちづくりプロジェクトについて ● 北条12号線（大正橋）拡幅工事について ● 鎌池公園親水護岸工事について ● 府営住宅に移管について ● J R 連続立体交差事業について | <p>11 天野 一之 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市内店舗応援商品券事業の経過 ● 生活保護申請時の対応 ● 非核平和都市宣言「大東市」の平和の取組み ● 学校施設の機能向上に向けた取組み ● 保健医療福祉センターの現状とその役割 |
| <p>2 あらさき 美枝 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 介護給付費準備基金の考え方 ● 市有財産の貸付先選定・減免基準の明確化 ● 自治会費捻出困難な防犯灯未整備地域の対応 ● ごみの戸別収集における今後の方針 ● もりねき住宅の施設改善要望 | <p>7 光城 敏雄 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 横文字等の片仮名語ではなく日本語使用を ● コロナ禍における対策本部構成や生活支援策 ● 令和3年1月の「核兵器禁止条約」発効を受けてのヒバクシャ国際署名に関する本市見解 ● レジ袋禁止と粗大ごみ有料化への本市見解 | <p>12 児玉 亮 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 少子化対策の主な施策について ● 高齢化対策の主な施策について ● 本市教員の働き方改革の進捗状況について ● 小・中学校の図書館司書について ● 本市職員のいじめ・ハラスメントについて |
| <p>3 中村 晴樹 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市内店舗応援商品券事業及び旧子ども発達支援センター跡地の土地売却における公文書管理の問題点と今後の改善策について ● 財政規律を堅持する財政運営基本条例を ● 府営住宅移管を見据えた公共施設等管理計画 | <p>8 東 健太郎 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子ども発達支援センターの延長保育に向けて ● 三好長慶、飯盛城跡等の魅力を活かす取組み ● 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種 ● 府営住宅の移管におけるスケールメリット ● 市内店舗応援商品券事業からの教訓 | <p>13 木田 伸幸 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 令和2年度の本市の人口増減とその対策 ● 外部人材の登用にに向けた方向性 ● 子どもたちが成長できる教育の役割 ● 北条プロジェクトの目的と内容 ● 地域包括支援センターの役割 |
| <p>4 中村 ゆう子 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コロナワクチン副反応症状への診療体制は ● コロナ感染症に関連する人権侵害対策は ● 不育治療・不育検査費助成事業について ● 民間事業所との福祉避難所設置・運営に関する協定締結の進捗状況について | <p>9 小南 市雄 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止について ● 飯盛城跡国史跡に向けた整備について ● 平野屋新田会所跡の整備と活用について ● 中高年のひきこもりと8050問題について ● 大東市景観条例に基づく審査について | <p>14 酒井 一樹 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全市民一律給付事業について ● 多機能型防犯カメラと防犯カメラの9割補助 ● 野崎駅・四条駅周辺整備について ● 全市公共交通について ● 18歳まで子ども医療費助成対象者の拡充を |
| <p>5 水落 康一郎 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本市シルバー人材センターの会員への就業機会の提供及び本市シルバー人材センターへの発注業務の減少について ● 成果連動型公民連携事業について ● 住道駅周辺エリアの価値の向上について | <p>10 北村 哲夫 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 指定金融機関について ● 府営住宅の移管が必要な理由と政策決定までの経緯について ● 移管住宅の財政シミュレーションについて ● 移管7住宅の建設当時の総事業費について | |



議会活動日誌

(令和2年12月定例会以降のもの R2.12.23～R3.3.23)

12月 23日 ・飯盛霊園組合議会

- 1月 4日 ・会派代表者会議
- 14日 ・大東市総合計画・総合戦略審議会
- 20日 ・議会運営委員会
- 全議員議案説明会
 - 本会議（1月特別議会）
 - 会派代表者会議
- 22日 ・大東市の市庁舎建て替えに関する特別委員会
- 特別協議会
- 28日 ・大東市民生委員推薦会

- 2月 2日 ・議会運営委員会協議会
- 会派代表者会議
 - 合同委員会報告会
- 8日 ・障害のある人が安心・安全に生活できる大東市を目指す特別委員会
- 12日 ・会派代表者会議
- 15日 ・全議員議案説明会
- 議会運営委員会
 - 大東市の教育に関する特別委員会
- 16日 ・大阪広域水道企業団議会

- 2月 17日 ・大東四條畷消防組合議会
- 19日 ・東大阪都市清掃施設組合議会
- 22日 ・全員協議会
- 本会議（3月定例会月議会第1日目）
 - 大東市の交通課題に関する特別委員会
- 25日 ・大東市の行財政改革特別委員会
- 28日 ・議会運営委員会
- 全議員議案説明会
 - 本会議（3月定例会月議会第2日目）日曜議会

- 3月 2日 ・会派代表者会議
- 3～5日 ・未来づくり委員会
- 8～9日 ・街づくり委員会
- 15日 ・会派代表者会議
- 18日 ・会派代表者会議
- 議会運営委員会
 - 議会市民レポーター会議
 - 特別協議会
- 19日 ・本会議（3月定例会月議会第3日目）
- 22日 ・本会議（3月定例会月議会第4日目）
- 23日 ・本会議（3月定例会月議会第5日目）

付議された議案の審議結果

1 月特別議会

○賛成 ×反対

件 名		審議結果	公明党議員団				大阪維新の会				清新会			Jimin 翔政会			日本共産党議員団	無党派	
			東健太郎	杉本美雪	酒井一樹	大束真司	児玉亮	木田伸幸	中村晴樹	石垣直紀	小南市雄	品川大介	水落康一郎	中村ゆう子	北村哲夫	中河昭	天野一之	あらさき美枝	光城敏雄
2 年度補正予算	一般会計補正予算（第 10 次）	可決	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
条例の一部改正	一般職の職員の給与に関する条例	可決	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3 月定例月議会																			
2 年度補正予算	一般会計補正予算（第 11 次）	可決	○	○	○	議長のため、採決に加わらず	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	一般会計補正予算（第 12 次）	可決	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険特別会計補正予算（第 5 次）	可決	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	介護保険特別会計補正予算（第 4 次）	可決	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第 4 次）	可決	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 駅周辺整備事業特別会計補正予算（第 1 次）	可決	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	水道事業会計補正予算（第 3 次）	可決	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3 年度予算	下水道事業会計補正予算（第 1 次）	可決	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般会計予算	可決	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
	国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	交通災害共済事業特別会計予算	可決	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	火災共済事業特別会計予算	可決	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	介護保険特別会計予算	可決	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	後期高齢者医療保険特別会計予算	可決	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
	2 駅周辺整備事業特別会計予算	可決	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
3 年度補正予算	水道事業会計予算	可決	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	下水道事業会計予算	可決	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事案件	教育長の任命（水野 達朗 氏）	同意	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計画の変更	教育委員会委員の任命（中野 健一郎 氏）		同意	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総合計画の基本構想及び基本計画並びにまち・ひと・しごと創生総合戦略		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	環境基本計画		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	一般廃棄物処理基本計画		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	障害福祉計画		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	総合介護計画	修正案	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	
		原案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
	水道ビジョン		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
条例の制定	インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
条例・規則の一部改正	市議会会議規則		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	基金条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	介護保険条例	修正案	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	
		原案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
	国民健康保険税条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
	市営住宅条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	
	特別職非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	市議会委員会条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市議会の議決すべき事件を定める条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
請願	第 8 期介護保険料に関する請願書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×		
意見書	障害者福祉対策のさらなる強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

議長のため、採決に加わらず

議会市民レポーター

令和 3 年 4 月 1 日付で 12 人の市民の方々が、大束真司議長から「議会市民レポーター」に委嘱されました。任期は 1 年で、議会活動や議会運営について市民の目線でご意見をいただくとともに、議会の広報・啓発にもご活躍いただきます。